学校番号	J1003

令和５年度　道徳科

学年	1	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学道徳１「きみが　いちばん　ひかるとき（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、きっちり授業に参加する。

2　学習の到達目標

社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人間としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、より良い方向を模索し続けるために必要な資質・能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自ら考えて	中学校に入学した自覚をもつ				
		いじめを許さない心について考える				
		新しい仲間を思いやり、よりよい学校生活を送る				
2学期	広い視野で	他者の気持ちを考えて行動する				
		情報モラルについて考える				
		社会との関わりを考える				
		広い世界に目を向ける				
3学期	共に学びあいながら	進級に向けた準備をする				
		よりよい自分を探す				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1003

令和５年度　道徳科

学年	2	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学道徳２「きみが　いちばん　ひかるとき（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、きっちり授業に参加する。

2　学習の到達目標

社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人間としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、より良い方向を模索し続けるために必要な資質・能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自覚をもって	上級生として生活する				
		いじめを許さない心について考える				
		自分のことを知ろう				
2学期	広い視野で	情報モラルについて考える				
		働くことについて考える				
		多様性について考える				
		環境について考える				
		自分の良さを伸ばす				
3学期	よりよい生き方を求めて	最上級生となる自覚をもつ				
		よりよい生き方を目指す				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1003

令和５年度　道徳科

学年	3	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学道徳３「きみが　いちばん　ひかるとき（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、きっちり授業に参加する。

2　学習の到達目標

社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人間としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、より良い方向を模索し続けるために必要な資質・能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	志をもって	最上級生という自覚をもって行動する				
		いじめを許さない心について考える				
		将来を思い描く				
2学期	広い視野で	他者とともに生きる社会を思い描く				
		情報モラルについて考える				
		歩いてきた道を振り返る				
		社会の一員としての自覚について考える				
3学期	よりよい生き方を求めて	新しい進路に向かって自分を見つめ直す				
		新しい進路へはばたく				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度